

# 文化財を散策される皆さんへ

～見学のマナーと注意事項～

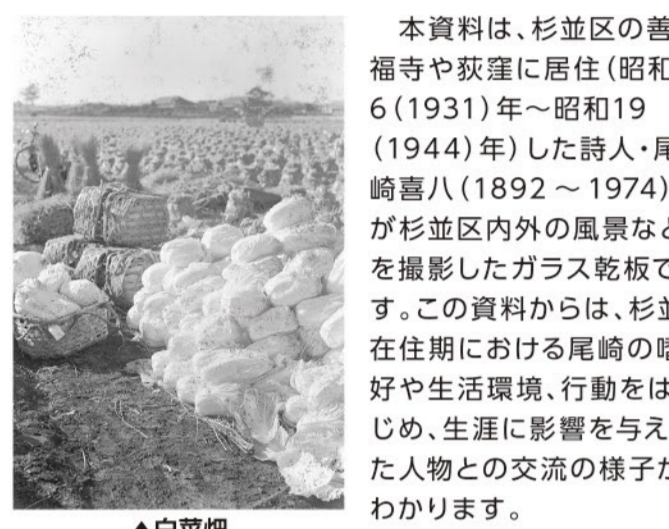
- 許可なく個人の敷地に入ることはおやめください。
- 団体で見学する場合は、事前に見学先に連絡をするようにしてください。
- 文化財の所有者や近隣の迷惑になる行為(汚損、喫煙、大声での会話等)は慎んでください。
- 掲載している文化財は、公開されていない文化財(個人所有の文化財等)も含んでいるため、ご覧にならないものもあります。

## 杉並区の指定文化財紹介 その1

令和4年度に杉並区が指定した文化財を紹介します。この他の文化財も、区政資料室(区後西棟2階)・杉並区立郷土博物館本館及び分館で有償頒布している刊物「杉並区の指定・登録文化財」や「文化財シリーズ」で詳しく紹介していますので、是非ご覧ください。

### おぎさ喜八 尾崎喜八関係資料

(ガラス乾板 附ネガフィルム)



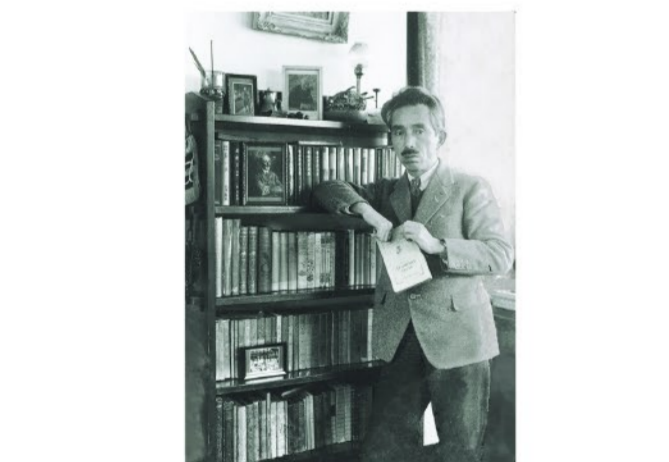
また尾崎は、著作に自ら撮影した写真を掲載するなど、創作の背景を説明する手段として写真を利用しました。尾崎の写真は、尾崎作品を理解すると同時に、詩人・尾崎喜八を研究する上で欠くことのない資料です。

加えて、カメラや乾板・フィルムが希少な時代に撮影された写真は数が少なく、特に農村の杉並区内の様子を今に伝える尾崎の写真は貴重な資料でもあります。

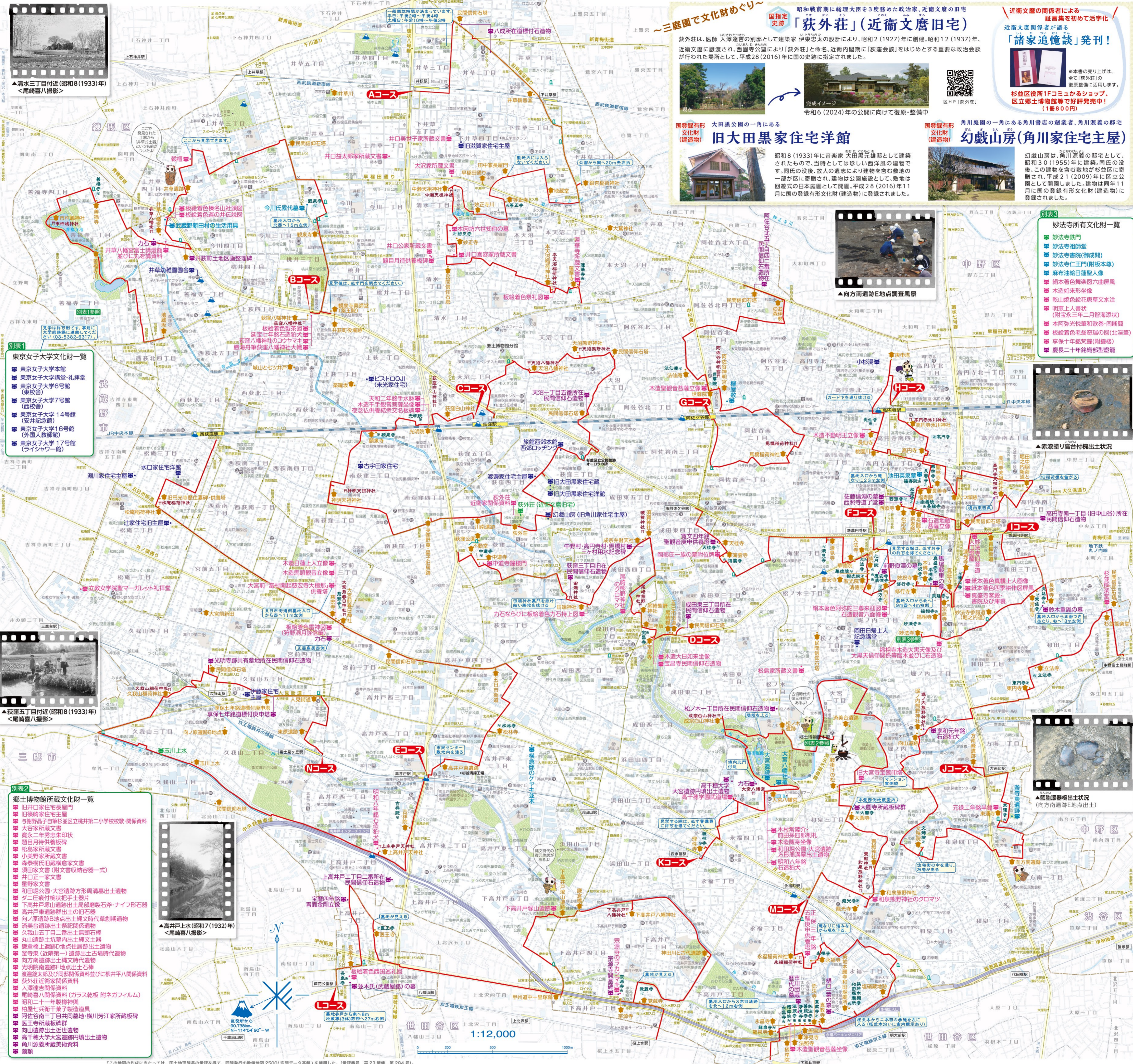
### 尾崎喜八

自然と音楽を愛した尾崎は、高村光太郎の文章に触れ文学の道を目指し、ロマン・ロランに傾倒し独自の詩境を深めました。また、自然観察や登山にも情熱を注ぎ、尾崎の自然や山に対する想いは、散文集「山の絵本」や「詩集 広野の火」などの著作によく表れています。戦後には、尾崎の最高傑作とも評される「詩集 花咲ける孤独」を刊行しました。

尾崎は、杉並に在住した鳥類研究者・中西佐堂や、詩人・北原白秋、彫刻家・高田博厚を始めとして多岐にわたる交友関係がありました。こうした交友関係は、尾崎が撮影した写真からもうかがうことができます。



尾崎は高井戸や荻窪、善福寺に居住しました。この写真は善福寺居住時に撮られたものです。



- #### 別表1 東京女子大学文化財一覧
- 東京女子大学本館
  - 東京女子大学講堂・礼拝堂(旧校舎)
  - 東京女子大学6号館(東校舎)
  - 東京女子大学7号館(西校舎)
  - 東京女子大学14号館(安井記念館)
  - 東京女子大学16号館(外国人教師館)
  - 東京女子大学17号館(ライシャワー館)

- #### 別表2 郷土博物館所蔵文化財一覧
- 旧井口家住宅後遺門
  - 旧藤崎住宅主屋
  - 与謝野晶子自筆杉並区立楠第二小学校校歌・関係資料
  - 大谷家所蔵文書
  - 寛永二年秀忠朱印状
  - 題目月待供養板碑
  - 松島家所蔵文書
  - 小栗野所蔵文書
  - 森泰蔵氏旧蔵榎倉家文書
  - 須田家文書(附文書収納箱一式)
  - 井口一家文書
  - 星野家文書
  - 和田郷公園・大宮遺跡方角溝溝壙出土遺物
  - タニ区付塚(掘り出し土)
  - 下高井戸塚山遺跡出土陶器製石・ナフ形石器
  - 高井戸東遺跡出土の旧石器
  - 向ノ原遺跡B地点出土縄文時代早期遺物
  - 清美台遺跡出土祭祀関係遺物
  - 久我山五丁目一番出土無頭石
  - 丸山遺跡土坑内出土縄文土器
  - 鎌倉橋土遺跡の地居居屋出土遺物
  - 釜寺東(近藤第一)遺跡出土古墳時代遺物
  - 向方南遺跡出土縄文時代遺物
  - 光明院南遺跡F地点出土石
  - 赤坂大谷及び向部関係資料並びに柳井八関係資料
  - 外野氏家系関係資料
  - 尾崎喜八関係資料(ガラス乾板 附ネガフィルム)
  - 昭和二十一年製神輿
  - 柏原七兵衛干菓子製造用具
  - 阿佐谷南三丁目共同墓地・横川芳江家所蔵板碑
  - 天王寺所蔵板碑
  - 丸山遺跡出土土器
  - 高千穂大学大宮遺跡出土遺物
  - 角川源義所蔵美術資料
  - 蘭額

「この地図の作成に当たっては、国土院院長の承認を得て、関係方面の数値地図2500(空間データ基盤)を使用した。(承認番号 平23第1号、第284号)」

### ～三庭園で文化財めぐり～

昭和戦前期に総理大臣を3度務めた政治家、近衛文麿の旧宅「荻外荘」(近衛文麿旧宅)は、医師 入澤達吾の別邸として建築家 伊東忠太の設計により、昭和2(1927年)に創建、昭和12(1937年)、近衛文麿に譲渡され、舊皇宮公邸として「荻外荘」と命名。近衛内閣期に「荻外荘をめぐり」をはじめとする重要な政治会議が行われた場所として、平成28(2016)年に国の史跡に指定されました。

国登録有形文化財(建造物) 旧大田黒家住宅洋館

国登録有形文化財(建造物) 幻戯山房(角川家住宅主屋)

昭和8(1933年)に音楽家 大川真元郎として建築されたもので、当時としては珍しい西洋風の建物です。岡氏の没後、故人の遺志により建物を含む敷地の一部が国に寄贈され、建物は公園施設として、敷地は回遊式の日本庭園として開園。平成28(2016)年1月に国の登録有形文化財(建造物)に登録されました。

角川角園の一角にある角川書店の創業者、角川源義の邸宅 幻戯山房(角川家住宅主屋)

幻戯山房は、角川源義の邸宅として、昭和30(1955)年に建築。岡氏の没後、この建物を含む敷地が杉並区に寄贈され、平成21(2009)年に区立公園として開園しました。建物は同年11月に国の登録有形文化財(建造物)に登録されました。

### 凡例

区界、市界、町界、丁目界、地界、高幹線、幹線道路、道川、公園、緑地、水路、バス路線・停留所、史跡散歩コース

Aコース、Bコース、Cコース、Dコース、Eコース、Fコース、Gコース、Hコース、Iコース、Jコース、Kコース、Lコース、Mコース、Nコース、Oコース、Pコース、Qコース、Rコース、Sコース、Tコース、Uコース、Vコース、Wコース、Xコース、Yコース、Zコース

警察署・交番等、図書館、公民館、児童遊園地、区立学校、保育園・幼稚園、国の登録文化財、市の登録文化財、区の指定文化財、文化財案内表示板

### 杉並区の指定文化財紹介 その2

令和4年度に杉並区が指定した考古資料関連の文化財を紹介します。

むかほうなん せき 縄文時代遺物

本資料は、神田川右岸の低地から台地縁辺部にかけ広がる向方南遺跡(方南1-51-52)から出土した縄文時代の遺物群です。当遺跡ではこれまでに5度の発掘調査が実施されました。平成22年度に第1・2・4次調査(A・B・D地点)の413点を指定し、そして令和4年度は第5次調査(E地点)の87点を指定し、総数638点となりました。

第5次調査(E地点)では、神田川旧河道の川底に堆積した土壌から、縄文時代前期から後期の土器・石器・土製品、土製品、木製品、編組製品等が出土しました。赤漆塗り高台付椀は、素地がイヌガイや製で、漆が5層にも重なる丁寧な造りで、藍胎漆器機は、タケ笹を編んで表面に漆を塗った器です。高台付椀や藍胎漆器機は、杉並区内で初めて出土した資料で、当区の縄文時代の歴史や文化を考える際に欠かせない貴重な資料です。

### 区内で初出土!

赤漆塗り高台付椀

藍胎漆器機

### 杉並の歴史探訪!

郷土博物館のご案内

年間を通して杉並の歴史・文化を学べる郷土博物館本館

敷地内には、江戸時代後期の商家の特徴がみられる古民家もあります。

【開館時間】午前9時から午後5時

【住所】〒168-0061 大宮一丁目23番8号

【電話番号】03-3317-0841

【観覧料】100円

※20人以上の団体はひとり80円

※中学生以下は無料

郷土博物館分館

●毎月第3木曜日(祝日と重なった場合は閉館、翌日休館)

●12月28日から1月14日

【住所】〒167-0032 天沼三丁目23番1号

【電話番号】03-5347-9801

【観覧料】無料

### 妙法寺所有文化財一覧

- 妙法寺鉄門
- 妙法寺相輪堂
- 妙法寺書院(御成間)
- 妙法寺三王門(附本尊)
- 麻布油絵日蓮上人像
- 絹本彩色舞臺図六曲屏風
- 木造如来形坐像
- 乾山彩色繪花唐草文注
- 明徳上人書状(附永享二年二月海澄添状)
- 本阿弥光悦筆和歌・歌仙断簡
- 板絵彩色老翁持扇(附北漢筆)
- 享保十年銘梵鐘(附鐘樓)
- 慶長二十年銘銅製香爐

### 妙法寺所有文化財一覧

▲赤漆塗り高台付椀出土状況 (向方南遺跡E地点出土)

▲藍胎漆器機出土状況 (向方南遺跡E地点出土)

### 【開館時間】

午前9時から午後5時

【休週日曜日】

●毎月第3木曜日(祝日と重なった場合は閉館、翌日休館)

●12月28日から1月14日

### 【住所】

〒167-0032 天沼三丁目23番1号

【電話番号】03-5347-9801

【観覧料】無料